

<p>5. 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(1) 白地図に三つの人口集中地域を書きあらわす。</p> <p>(2) 作成した地図から気づいたことを話し合う。</p> <p>6. 次時の学習課題について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>世界には、どんな気候のところがあるか</p> </div>	7	<p>○あとでもよくわかるように地形図の上に書き入れておこう</p> <p>○できあがった地図から気づいたことはないか。</p> <p>(同じ平野でも人口が少ない所があるのはなぜだろう)</p> <p>○次時の学習課題を解決するために資料をたくさん集めておこう。</p>	自作地図	<p>評価3</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <th style="text-align: center;">項目 抽出児</th> <th style="text-align: center;">表面的な読みとり</th> <th style="text-align: center;">対比した読みとり</th> <th style="text-align: center;">分析法則の読み傾向</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○三つの地域を地形図の上にかさねてかきあらわすことができたか (作品)</p>	項目 抽出児	表面的な読みとり	対比した読みとり	分析法則の読み傾向	A				B				C			
項目 抽出児	表面的な読みとり	対比した読みとり	分析法則の読み傾向																	
A																				
B																				
C																				

(9) 指導の記録

〈第1時〉

- 地球儀と地図のちがいを理解させるために方位・きよりを調べる作業を通して学習を進めた。作業化を図り、グループでまとめさせる方法を取り入れることにより、個別指導が強化され、地図と地球儀の理解がより確かなものになる。
- 小集団の作業時に、チェックリストにより観察評価を行ない、個別指導の手がかりとした。

〈第2時〉

- 現象面だけのちがいは、大体の児童は気づいたが、「なぜだろう。」「どうしてだろう。」という探究的な学習態度の育成が少なかった。
- 話し合い活動において、発言による評価は難しいので、カードに各自の考えを書かせることにより、評価を容易にするくふうが必要であった。

〈第3時〉

- 意識調査結果による上位ランクされた国々などの位置も確認させ、我が国との関係を明らかにさせながら学習を進めていった。

- 世界のニュースなどから、日本と世界の国々の関係をとらえるために、新聞切りぬきニュースメモなどを資料として集めさせた。本時のために収集した児童は60%程度であった。

- 資料の集め方について、第8時に再指導を行なう。

〈第4時〉

- 知識や理解面の評価になりやすいが、ここでは、資料選択(吟味)する力の評価を行なった。数字にこだわらず、グラフ化・図式化された資料を選択させた。
- 教師による補説と児童の意見のくりかえしが多い学習であるため、上位・中位・下位群の抽出児によって評価した。

〈第5・6時〉

- 児童は、多くの集められた資料から、問題を解決しようとする態度がみられた。
- 各種統計や地図により、各自の資料を読みとる力がどのようにあらわれているか、尺度法により評価した。
- 児童の発言は、生活経験をこえている学習ではあるが、大へん活発であった。しかし世界の自然の規模の大きさを推測するよう